

運営事務局会議 議事内容報告

1.平成 30 年度 運営事務局会議開催状況

	開催日	議事
第 1 回運営事務局会議	平成 30 年 6 月 5 日 (火)	1 区自立支援協議会報告会と運営事務局会議の統合について 2 相談支援連絡会における班の体制について 3 区自立支援協議会の報告について 4 昨年度までの検討事項について
第 2 回運営事務局会議	平成 30 年 8 月 28 日 (火)	1 就労支援に係る会議の開催状況について 2 区自立支援協議会の報告について 3 相談支援連絡会(各班を含む)の活動報告について

2.平成 30 年度 運営事務局会議委員名簿(第 1 回、第 2 回)

敬称略

No	所属	氏名	所管区	備考
1	(福)いぶきサポート協会 きぼう福祉園	広岡 優次	東	
2	(福)新潟みずほ福祉会 第 2 みずほ園	海老 郁夫	西	
3	障がい者基幹相談支援センター東	今田 靖久	北	
4	障がい者基幹相談支援センター中央	山田 恵	中央	
5	障がい者基幹相談支援センター秋葉	杉山 貴則	江南	
6	障がい者基幹相談支援センター西	竹田 一光	西	相談支援連絡会
7	中央区役所健康福祉課障がい福祉係 係長	岩見 津登武	中央	
8	秋葉区役所健康福祉課障がい福祉係	金子 真也	秋葉	
9	南区役所健康福祉課障がい福祉係	白倉 実	南	
10	西蒲区役所健康福祉課障がい福祉係 係長	織田島 麻美子	西蒲	
	障がい福祉課介護給付係 係長	杉本 浩		事務局
	〃	工藤 朋大		〃

3. 昨年度までの要望・検討事項について

No	検討・要望事項	検討内容等
(1)	夕方支援について (北区自立支援協議会より)	<p>在学中の放課後等デイサービスは18時頃まで利用できたが、卒業後の通所施設は15時～16時に終了するため、本人の生活リズムが乱れ、家族がフルタイムの仕事を辞めなければならない可能性も。移動支援、短期入所、日中一時支援などを利用することもあるが、空きがない場合もある。これを踏まえ、生活介護事業所の朝夕のサービス提供に応じた加算創設、就労系サービス事業所の延長支援加算の創設等に関する要望。(H29.10.5 運営事務局会議)</p> <p>▼</p> <p>状況：北区で引き続き検討</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>通所施設の利用時間を原因に、生活リズムが崩れて本人に影響を及ぼしたケースがどの程度あるのか。また、フルタイムで働いていたが退職してしまった保護者が何人いるのかなど、まずは区での詳細な課題分析を改めて依頼。</p> <p>それを踏まえ、真に取り組むべきは加算の創設なのか、再度検討する。</p> </div>
(2)	計画相談支援事業所の整備について (西区自立支援協議会より)	<p>計画相談支援事業所の整備が進まない。南区と江南区には1ヶ所しかないため地域差も発生している。状況改善のため、具体的対策の検討を要望。(H29.10.5 運営事務局会議)</p> <p>▼</p> <p>状況：相談支援体制強化班で検討</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>改正後の運営基準、報酬告示等を精査し、今後の方針を検討していく。</p> </div>

<p>(3)</p>	<p>重症心身障がい児や医療ケアが必要な障がい児者のより、身近な地域で利用できる福祉サービスの充実について (H29.12.1 区報告会) (西蒲区自立支援協議会より)</p>	<p>重症心身障がい児や、医療的ケアが必要な障がい児者が利用できる施設が西蒲区内で確保できず、市内他区の施設は通いづらい。学校関係者からも卒業生の実習先・進路調整で苦慮するとの報告があった。重症心身障がい児や、医療的ケアが必要な障がい児者にとって、身近な地域で利用できるサービスの充実に向け、市の現状を把握するための調査を実施し、必要なニーズを協議できる場の創設を要望する。 (H29.12.15 運営事務局会議)</p> <p>▼</p> <p>状況：協議の場として療育等支援班を設置</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>今年度は市内における社会資源や支援対象者の分布を調査する予定。</p> </div>
<p>(4)</p>	<p>自立支援協議会の体制の見直しについて (運営事務局会議より)</p>	<p>地域から上がった課題を整理し、議論していくため、現在の自立支援協議会の体制の中に専門部会の設置を要望する。</p> <p>既設の相談支援連絡会の他、就労支援部会、療育支援部会、権利擁護部会、精神障がい者地域移行地域定着支援部会など。</p> <p>これまでの行政に頼る運営ではなく、事務局を民間が担い、民間主体の協議会運営を目指したい。 (H30.3.7 運営事務局会議)</p> <p>▼</p> <p>状況：協議の場として相談支援連絡会に 4 つの班を設置することとした。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>就労支援関係の課題については、運営事務局会議内で検討する。</p> </div>

<p>(5)</p>	<p>移動支援事業について (西区自立支援協議会より)</p>	<p>療育手帳Bと自閉症スペクトラムの19歳男性に対する支援の中で、移動支援が必要となったが、空きがなくなると断られてしまうというケースが発生した。</p> <p>真に必要な人が利用できない状況であり、将来の補完と緊急性の精査などを含め、制度の見直しを要望する。</p> <p>(H30.3.7 運営事務局会議)</p> <p>▼</p> <p>状況：西区で引き続き検討</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>課題の検討と分析を区で取り組み、整理した内容を改めて運営事務局会議に上げる。</p> </div>
------------	-------------------------------------	--

4. 今年度の検討課題について

No	検討・要望事項	検討内容等
(1)	<p>入所待機者の解消について (北区自立支援協議会より)</p>	<p>施設入所支援の待機者が減らないため、入所を希望してもなかなか入所できない現状がある。また、入所順が回っても断るケースが後を絶たない。入所調整会議を市で担当するのはどうか。</p> <p>※北区だけで検討する範囲を超えていると思われる。 (H30.8.28 運営事務局会議)</p> <p>▼</p> <p>状況：北区及び運営事務局会議で引き続き検討</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>施設入所者の地域移行の方策について検討する。</p> </div>
(2)	<p>緊急時の短期入所の利用について (中央区自立支援協議会より)</p>	<p>不測の事態に備え、短期入所を支給決定しているものの、本人または保護者の了解を得られずに短期入所を利用していないケースが多い。緊急時に短期入所が必要になった場合に、それまで一度も利用がなかった場合に事業所側は本人の特性がわからないため受け入れを躊躇してしまう。</p> <p>(H30.8.28 運営事務局会議)</p> <p>▼</p> <p>状況：運営事務局会議で引き続き検討</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・短期入所事業者数の増、緊急短期入所受入加算の算定要件の変更(H30 年度～)など、緊急時の受け入れ環境は向上しつつある。 ・ケースワーカー会議において現状を確認する。 </div>

<p>(3)</p>	<p>医療的ケアが必要な障がい児者の対応に係る検討の場の設置について (秋葉自立支援協議会より)</p>	<p>平成 28 年度、平成 29 年度に取り組んだたん吸引が必要な障がい児者の実態調査結果を踏まえ、市全体で医療的ケアが必要な障がい児者の住み慣れた地域をより良くするために医療を含めた多職種でどのような取り組みができるか検討する場の創設を求める。あわせて、秋葉区自立支援協議会でも検討を継続する。 (H30.8.28 運営事務局会議)</p> <p>▼</p> <p>状況：秋葉区で引き続き検討、療育等支援班で検討</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>区における検討は秋葉区自立支援協議会、市における検討は療育等支援班が担当する。</p> </div>
------------	--	---